



# 同窓会だより

第19号発行 愛知享栄学園  
 栄徳高等学校同窓会事務局  
 〒480-1103  
 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-32  
 TEL 0561-62-5000  
 FAX 0561-62-5549  
 E-mail dousoukai@eitoku-h.ed.jp  
 印刷・編集 株式会社クリックス  
 052-325-2512(代)  
<https://clicks-d.jp/>

## ご挨拶



同窓会 会長  
市村 洋幸

この度の能登半島地震に際し、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、1日も早いご再建をお祈り申し上げます。

栄徳高等学校の同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。同窓会では在校生を表彰し、記念品を贈呈する顕彰事業を通して、学校の発展と在校生の成長にも寄与しています。日ごろから同窓会の運営にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

この4年ほど、コロナ禍で生活は大きく変わりました。外出時はマスクの着用は当たり前で、密を避け、外での食事のままならない時期があったと思います。適度なソーシャルディスタンスの確保が求められ、画面を伴う遠隔コミュニケーションツールがあつという間に広まり、職場や学校など様々な分野でそれ相応の活躍をしています。直にふれ合うことや顔を突き合わせて議論を交わすには程遠く、味気ない世の中になってしまった感が拭えません。栄徳においても授業を始め、各種行事に制限がかかり、大変な思いをした時

期であったことと思います。

一方、マスクのおかげで感染予防ができたという恩恵がありますが、顔の半分が分からぬままで、次にマスクなしで再会したときに、その人と認識できるかどうか私は自信がありません。全く笑えない話です。

しかし、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類になりました。まだ予断を許しません、公共の場でマスクを着用しない人の存在が認められるようになるなど、少しずつ元通りの生活に戻りつつあるように思います。

そんな状況で、感染予防を考慮しながら同窓会役員会を行うとともに、昨年8月に5年ぶりとなる同窓会総会を開催することができました。短期間での告知でどのくらいの人数が集まるのかという心配をよそに、同窓生と恩師合わせて200人以上の参加がありました。笑いが絶えることなく、楽しい時間はあつという間に過ぎるとい言葉どおりの時を過ごし、最後に校歌と五訓の唱和を行いました。私自身、果たして覚えているのか一抹の不安がありました。身体が覚えていて、歌詞カードなく唄えたことにホッと胸を撫で下ろしています。

栄徳は創立40年を迎えました。益々の発展を祈念いたしますとともに、引き続き、皆様におかれましては同窓会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## TOPICS

- ご挨拶 同窓会 会長 1
- ご挨拶 学校長 2
- ご挨拶 退職職員 3
- 決算報告・予算案・教職員異動 5
- 部活動報告 6

## 総会のお知らせ

2024年の総会については、8月に本校、視聴覚教室で行います。当日の詳細については新年度以降HPにアップしていく予定です。そちらをご覧ください。



## ご挨拶



学校長  
三好博輝

本年度、鈴木文悟前校長の後任として校長を拝命しました三好博輝と申します。微力ではございますが栄徳高等学校のために尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年早々、能登半島で大地震が起こり、羽田空港では旅客機が衝突、さらには昭和の戦後政治の舞台となった田中角栄邸が全焼するなど波乱の幕開けとなりましたが本校同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動の充実発展のために、格別のご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

本校は今年度で40周年を迎え、昨年6月にはバンテリンドームで記念行事を実施するとともに、20年ぶりに記念誌を制作しました。昭和58年、緑豊かなここ長久手の地に本校が創立して以来、地域社会の期待を受け、良き伝統と歴史は絶えることなく受け継がれ、常に新しいものを創造しながら着実に成長を続けて参りました。これもひとえに同窓会の

皆様の長きにわたる多大のご支援とご援助によるものであると深く感謝申し上げます。

中学校や公立高校では働き方改革の名のもとに部活動が制限され、その魅力が失われつつある中、本校では強化部である野球・ラグビー・男子バレーをはじめ多くの部活動が精力的に練習をし、素晴らしい成果を収めております。願わくは野球部が甲子園に、ラグビー部が花園に、バレー部が再び春高バレーに出場すれば、学校はもとより同窓会の皆様にもさらなる活力を与えることになるのではないかと考えます。

また、本年度は、文武両道の進学校としてさらなる発展を遂げるため、そして、中学生人口が激減しても存続が可能な学校にするために、グランドデザイン実行委員会を立ち上げ、本校の将来について考える運びとなりました。今後も母校の発展にご期待ください。

今年は394名の生徒を同窓会会員として迎え入れて頂くことになりました。建学の精神である「誠実で信頼される人に」を校訓とし、「栄徳五訓」を胸に刻んできた生徒たちです。皆様方からの温かいご指導を頂ければ幸いです。

今後とも母校、栄徳高等学校にこれまで同様のご支援、ご協力を頂きますようお願いし、同窓会の皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



ご挨拶 (退職職員)

副校長

森 勝 則

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。私も皆さんと一緒に、今年度で栄徳高等学校を卒業(定年退職)します。

私は母校、日本体育大学でバレーボール部に所属した経験を活かし、本校へ赴任してすぐに男子バレーボール部を立ち上げました。創部2年目で県大会に出場し、4年目で県のベスト4入りを成し遂げました。その功績が認められ、愛知県選抜チーム(少年男子)のコーチを務めた平成6年愛知国体では全国3位の成績を残しました。

愛知国体後は国体スタッフを離れ、平成11年に全国高等学校バレーボール優勝大会(春高バレー)に全国最年少人数である8人で出場し、同年岩手インターハイでは天覧試合で緊張したことを今でもよく覚えています。平成13年の春高バレーではチームとして最高順位のベスト16入りを果たしました。

平成14年高知国体は、監督として、本校中心の選抜チームで出場し5位に入賞しました。この時開催地には宿泊施設がなく、現地の方の家に宿泊し、毎試合大漁旗で声援を送っていただき感激したこともいい思い出です。そして、現役監督として公式戦・遠征・合宿で43都道府県を訪問できたことは大きな宝となりました。

生徒へは「バレーボールが一番ではない。学校生活全般をまじめに取り組みなくてはならない。」と日頃から指導してきました。その結果、県大会決勝や全国大会には、多くの学校職員・生徒・保護者・OB・地元の方々が応援に駆けつけてくださいました。改めて感謝申し上げます。

最後に、人生は「行く場所」があり「戻る場所」があることが一番の幸せであるということをお覚えておいてください。皆さんは3年間、栄徳高校に行き、家庭に戻ることを毎日のように繰り返してきました。しかし、能登半島地震のように、突如として、大切な場所がなくなってしまうことが起きうるということを心に留めておいてください。4月から始まる新しい「行く場所」でのご活躍を心より願っています。

教職員

森 浦 朗

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思えば入学したちょうど3年前の春は、世界がコロナ禍となり、中学校や高校の卒業式は縮小し、大学の卒業式はほとんどが中止になっていた事を覚えていますか？その中で日常が少しずつ戻り、高校生活最大の行事である修学旅行は沖縄や北海道に行くことができ、最良のクラスメイトとの思い出となったことでしょう。

さて、栄徳高校での3年間で将来の夢は持てましたか？その夢に向かった進路に進めそうですか？高校生活の3年間は長い人生で言えばまだまだ通過点です。その通過点をどんな風に過ごしたかが、これからの長い人生に繋がってきます。

私は、昭和58年(1983年)4月の創立から栄徳高校に勤務してきました。創立からの教師として最後の一人となり、この3月で無事定年を迎えようとしています。この41年間の長い教員生活で、生徒諸君と楽しいことや苦しいこと、また一緒に喜んだり悩んだり、今思えばあっという間に過ぎていきました。私の教員生活は担任から始まり、生活指導担当、さらに学年主任と学校全体を見る立場に変化していき、毎日が慌ただしく過ぎていきましたが、そんな中で私が35歳の時に転機が訪れました。

ある五輪マラソン選手の指導者の方の本で「〇〇君、きみが今怪我をして練習で苦しんでいるのは、神や仏がお前に試練をわざと与えている時期なのだ。ここを踏ん張れば必ず明るい明日がやって来る。今は試されている時期だ。夜になり暗くなっても必ず翌朝太陽は昇ってくる。」という言葉を読んだ瞬間、頭の中で何かパーンと弾けました。翌日から私にとって栄徳高校は、より楽しみに出勤できるようになっていきました。人生全てがポジティブに変わった瞬間でした。

学生時代の友人は一生の宝物です。私は今でも50年前の友人たちとも繋がっています。君たちもそんな友人を大切にしてください。そして最後にここまで成長させてくれた方々に『感謝』の気持ちを持って卒業しましょう。

卒業式、「嗚呼〜♪ なんて素敵な日だ♪」

## 教職員

## 中野幸治

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は、享栄で8年、栄徳で35年、合計43年間享栄学園でお世話になりました。その間、栄徳高校創立者である堀敬文先生の仲人で結婚し、長男は享栄高校に入学、2000本安打で活躍中の大島選手と共に甲子園を目指し、長女は栄徳高校で学び南山大学へ進学しました。

享栄高校での8年間は、柴垣旭延監督(現総監督)の師事の下、コーチとして春夏計4回甲子園に出場し黄金時代と言われた近藤・長谷部のバッテリー(共に元中日ドラゴンズ・現岐阜県大学野球監督)や佐藤(アトランタオリンピック銀メダリスト・現愛知享栄学園)を擁してのチームは大変強かった記憶があります。

栄徳高校にも野球部を創部して学校に活力を生み出そうという趣旨で監督の命を賜いました。創部1年目は近隣の野球場を借り自転車で通い、2年目からは自ら大型バスを運転し、石ころ拾いから始めた手作りの猿投グラウンドで10年間練習しました。部としての基礎ができたころ、内野は黒土でナイター設備の整った現在のグラウンドへ移転ができました。そこでの練習により県大会でも上位進出が臨める程に成果が表れ、悲願の甲子園初出場にあと一步というところまで届くようになりました。

現在、私と同様に教師と野球指導者を目指してくれた教え子たちがいます。指導者冥利に尽きます。彼らがこれからの栄徳高校野球部を甲子園に連れていくことでしょう。これまでご指導いただいた先生方、監督、野球部の保護者の皆様には本当にどれだけ感謝の意を表しても足りません。最後に、教鞭をとっている卒業生、野球部のOB、現役選手の皆さん、たくさんの感動をありがとうございました。これからも栄徳高校のご発展を祈念いたします。

## 教職員異動

令和5年度の教職員の異動について  
下記のように報告いたします。

## 〔令和4年度 退職された職員〕

川口 嘉也(英語)  
林 克寿(数学)  
大宮 笙(理科)  
桑原 一真(英語)  
二村 航平(国語)  
竹田 仁美(事務)

## 〔令和5年度 異動〕

鈴木 文悟(愛知享栄学園理事長)  
山田 憲彦(入試広報) 栄徳高校→享栄高校

## 〔令和5年度 新任の職員〕

加藤 清香(理科)  
渡邊 いろは(保健体育)  
竹本 帆乃加(国語)  
白石 光希(数学)  
山住 駿斗(数学)  
田中 裕也(英語)



# 同窓会・同窓会基金 決算予算報告

## 令和4年度 栄徳高等学校同窓会費決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
会合費	32,100	同窓会費	3,960,000
行事費	42,000	同窓会入会費	440,000
記念品代	981,398	受取利息	130
印刷製本費	62,060	同窓会協力金	0
雑費	880		
手数料	66,000		
報酬料金			
同窓会基金繰出金	1,000,000		
40周年積立金	1,000,000		
次年度繰越支払資金	14,243,533	前年度繰越支払資金	13,027,841
支出の部 合計	17,427,971	収入の部 合計	17,427,971

## 令和4年度 栄徳高等学校同窓会基金決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

項目	金額	備考
収入の部		
同窓会会計より繰入金	1,000,000	
雑収入	32	受取利息
前年度繰越金	2,812,254	
収入の部 合計	3,812,286	
支出の部		
奨学基金支出	875,000	
Student of the year 記念品	30,000	
次年度繰越金	2,907,286	
支出の部 合計	3,812,286	

## 令和5年度栄徳高等学校同窓会予算(案)

(単位 円)

項目	金額	備考
収入の部		
同窓会入会金	397,000	397人×1,000円
同窓会終身会費	3,573,000	397人×9,000円
小計	3,970,000	
前年度繰越金	13,027,841	
収入の部 合計	16,997,841	

(単位 円)

項目	金額	備考
支出の部		
総会費	1,600,000	総会諸費用
会合費	100,000	役員会打ち合わせ費用
行事費	45,000	卒業式・入学式花代
記念品代	600,000	
通信費	10,000	役員会案内
印刷製本	1,350,000	総会案内・資料含む
手数料	150,000	年間保守管理費等
同窓会基金繰出金	1,000,000	同窓会基金へ
小計	4,855,000	
次年度繰越金	12,142,841	
支出の部 合計	16,997,841	

### ➤ 創立40周年記念品

創立40周年記念品として、憩いの広場に机・椅子を寄付いたしました。



## 令和5年度部活動の活躍

### 【ラグビー部】

第27回東海高等学校選抜ラグビーフットボール大会  
Bブロック 優勝

第10回愛知県高等学校7人制ラグビーフットボール大会  
ベスト4

第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会  
ベスト8

### 【男子バレー部】

高校総体愛知県予選 第4位

愛知県選手権大会 第3位

全日本選手権大会愛知県予選 第3位

### 【ソフトボール部】

令和5年度 愛知県高等学校女子ソフトボール選手権大会  
ベスト16

### 【陸上競技部】

令和5年度愛知県高等学校新人対抗陸上競技大会  
女子100mH 第6位 岡本 彩里(東海大会進出)

第26回東海高等学校新人陸上競技選手権大会  
女子100mH 第5位 岡本 彩里

2024日本陸上競技選手権大会 大阪室内陸上大会 出場  
女子100mYH 岡本彩里

### 【ゴルフ部】

第46回愛知県高等学校ゴルフ選手権  
男子団体 第3位 女子団体 第4位

第46回中部高等学校ゴルフ対抗戦団体戦  
第4位 久保村 凌 河田 圭介 田中 楓陽  
林 謙吾 井村 栄斗

第48回中部ジュニアゴルフ選手権競技 本戦  
男子15~17歳の部 第13位 井村 栄斗(全国出場)  
第15位 林 謙吾(全国出場)

愛知県地区予選 女子15~17歳の部 第7位 吉川 凛

令和5年度 愛知県高等学校ゴルフ連盟オータムカップ2023  
団体戦 男子 第3位 女子 第5位

令和5年度 愛知県高等学校ゴルフ連盟オータムカップ2023  
個人戦 男子 第2位 林 謙吾

愛知県高等学校ゴルフ冬季大会 トップアスリートの部  
優勝 田口 桜子

第7回ヨネックスジュニアカップ東海・北陸地区等学校ゴルフ  
対抗戦 第3位

### 【卓球部】

第51回全国高校選抜東海選考会兼令和5年度東海高等学校  
新人体育大会 学校対抗戦 出場

第63回東海卓球選手権大会 男子シングルス 出場  
(岡本 田添 中村)

### 【日本拳法部】

第37回日本拳法愛知県民大会  
男子個人 第3位 川本 来貴  
女子個人 第3位 守屋 愛来

第33回高校東海大会  
男子個人 第3位 川本 来貴 ベスト8 小山 泰世  
女子個人 第3位 守屋 愛来  
男子団体 第3位  
女子団体 第3位

第68回全国高等学校日本拳法選手権大会  
男子個人 ベスト16 熊谷 颯真  
女子個人 ベスト16 守屋 愛来 後藤 蒼  
男子団体 ベスト8  
女子団体 第3位

### 【放送】

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会  
アナウンス部門 入選 児玉 颯都  
創作ラジオドラマ部門 努力賞

## 編集後記

今年は元日より震災に見舞われ、久し振りの団欒が惨劇に転じて、目の前で家族や親族を失った方々のコメントを聞くたびに胸が締め付けられる思いです。奇しくも今年最初の役員会はボランティア元年とも言われた1995年阪神淡路大震災から29年を経た1月17日でした。母校も開校より40年が経ち、不意の災害に対しても、安全な場所であり続けるためには改修が必要な箇所もあります。引き続きみなさまのご支援を賜りたく存じます。

余談ですが、母校の礎を築き、多くの同窓生を育ててくださった先生方が教壇を降りる時期が重なり、今回の同窓会だよりの推敲には多くの時間を費やすこととなりました。そんな裏側を想像していただきながら読み返していただければ幸いです。今後の懇親会でも多くの先生方との語らいの場を提供できるよう、役員一同尽力しますのでご参加のほど、宜しくお願いします。